
(平成24年度実施事業)

北本市教育委員会 点検・評価報告書

平成25年8月



北本市教育委員会

点検・評価報告書の策定にあたって

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「法」という。)」の一部が改正、施行され、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成24年度事務の管理及び執行の状況についての点検・評価を行ったものです。

ご一読いただき教育委員会の取組についてご意見等をお寄せください。

北本市教育委員会は、今後も市民の皆様の生涯に亘って学び続ける教育環境の整備・充実を図るとともに、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に努力してまいります。

平成25年8月

北本市教育委員会

教育委員会委員名簿

職名	氏名
委員長	島 寄 直 子
職務代理者	大保木 道 子
委員	岡 村 和 也
委員	西 村 裕 一
委員	金 井 裕
教育長	小 尾 富士雄

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

平成18年12月22日に教育基本法が改正され、新しい教育理念の下、地方における教育行政の中心的担い手である教育委員会の体制強化を目指した、地方教育行政の組織及び運営に関する法律も一部改正が行われ、平成20年4月からすべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務付けられました。

また、点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることができることも規定されています。

北本市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を実施し、更なる改善・改革を推し進め、期待される教育行政に伝えてまいります。

II 点検・評価の導入の効果

- 1 教育委員会が事前に基本方針を立て、それに対する事後チェックをすることにより効果的な教育行政の推進を図ります。
- 2 点検・評価の結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、議会において教育委員会の点検・評価に対するチェックが行われるとともに、市民への説明責任を果たすことができます。

III 点検・評価に対する視点

教育委員会制度の意義を踏まえるとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正の趣旨などに鑑み、平成25年度における教育委員会が行う事務の管理・執行状況の点検・評価については、評価対象年度を平成24年度とし、次の3部構成で行うこととします。

1 教育委員会会議及び教育委員の活動【第1部】

教育委員会が地方教育行政の中心的な担い手とされている、その役割を果たすためには、まず、合議制の教育委員会（狭義）がその機能を発揮しているかが重要な視点であることから、教育委員会会議及び教育委員の活動について、点検・評価を実施し、今後に向けた課題検討を行うとともに、市民への説明責任を果たします。

2 教育委員会の主要施策【第2部】

教育委員会が所管する主要施策のうち、児童生徒の学力向上をはじめ、社会問題となっているいじめや不登校などの重要な教育課題への対応など、市民に説明責任を果たす必要がある施策を取り上げ、施策レベルでの点検・評価を行い、今後に向けた課題検討を行うとともに、市民への説明責任を果たします。

3 知見の活用【第3部】

教育委員会の行った上記（第1部及び第2部）の点検・評価に対して、学識経験を有する者などの第三者に、点検・評価の内容や評価制度のあり方など、外部（第三者）の視点から検証を行い、今後の改革・改善への一助とします。

IV 点検・評価の方法及び日程

1 第一段階（担当課の取組）

- (1) 施策・事業一覧表の作成・・・・・・・・・・～5月上旬
上記視点に基づき、あらかじめ施策・事業の一覧を作成します。
- (2) 点検・評価の実施・・・・・・・・・・～5月中旬
担当課による各施策・事業の点検・評価を実施します。

2 第二段階（教育委員会）

- (1) 6月定例会における素案の協議・・・・・・・・6月下旬
事務局から作成された評価報告書（素案）の説明を行い、内容について協議を行います。
- (2) 7月定例会における評価の決定・・・・・・・・7月下旬
評価報告書にまとめられた各種施策・事業の点検・評価について、評価の決定を行います。

3 第三段階（知見の活用）・・・・・・・・・・8月上旬

学識経験者により最終的な点検・評価を行います。

4 第四段階・・・・・・・・・・8月下旬・9月

教育委員会にて承認を受けた後、北本市議会9月定例会開会時に議会に報告します。

V 総合評価・結果一覧

分類	評価区分	評価内容	点検・評価結果	
第1部	教育委員会会議及び教育委員の活動	議案審議の状況や教育施設現場訪問等活動状況について点検・評価を行った。	良 好	教育行政の適正な執行が図られた。
第2部	教育委員会の主要施策	行政報告書を基に、各部署における主要施策について点検・評価を行った。	良 好	各部署の主要施策は十分に行政効果を図られた。
第3部	知見の活用	学識経験者により、教育委員会の議案審議等の活動状況や教育委員会の主要施策について評価・検証を行った。	良 好	教育委員会の活動状況や各部署の主要施策を確認した結果、いずれも内部評価が妥当であると認められた。

【第1部】 教育委員会会議及び教育委員の活動

平成24年度 教育委員会 主要施策点検・評価表		有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果 費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予定以上の費用対効果 必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠 方向性・・・1＝廃止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大	
主 要 活 動 名	日付	報告・議案 件数	議事内容
定例・臨時教育委員会	定例教育委員会	報告 15件	平成23年度各小中学校第3学期の状況、平成23年度学力向上・生徒指導推進事業実施状況等の報告。
		議案 5件	平成24年度教育委員の学校訪問、就学支援委員会委員の委嘱等の議案の議決。
	定例教育委員会	報告 12件	要保護及び準要保護児童生徒の認定状況、第9回北本ピアノコンクールの開催等の報告。
		議案 10件	小中学校学校協議会委員の委嘱、小中学校外部評価委員の委嘱、平成24年度教育委員の社会教育施設等訪問等の議案の議決。
	臨時教育委員会	報告 0件	
		議案 6件	平成24年第2回北本市議会定例会の一般質問に係る答弁、工事請負契約（北本市立栄小学校校舎A棟耐震補強及び大規模改修工事「建築」）の締結等の議案の議決。
	定例教育委員会	報告 2件	教育長の決裁処分及び理科支援員の任命の報告。
		議案 4件	青少年指導委員会委員の委嘱、公民館運営審議会委員の委嘱等の議案の議決。
	定例教育委員会	報告 10件	市内中学校における生徒指導の状況、損害賠償請求事件に係る控訴等の報告。
		議案 2件	教育振興基本計画検討会議委員の委嘱等の議案の議決。
	定例教育委員会	報告 4件	平成24年度教育委員の学校訪問のまとめ、平成24年度各小中学校第1学期の状況等の報告。
		議案 4件	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書、石戸城跡保存管理計画及び整備基本計画検討委員会委員の委嘱等の議案の議決。

定例・臨時教育委員会	臨時教育委員会	9月11日	報告 0件	
			議案 1件	平成24年第3回北本市議会定例会の一般質問に係る答弁の議案の議決。
	定例教育委員会	9月28日	報告 4件	学力向上支援員の任命、第9回北本ピアノコンクールの開催等の報告。
			議案 3件	平成25年度当初教職員人事異動の方針、学校教員の任命等の議案の議決。
	定例教育委員会	10月25日	報告 7件	平成25年成人式の開催、第47回北本市市民文化祭舞台発表「文化のつどい」の開催等の報告。
			議案 1件	中学校部活動指導員の委嘱の議案の議決。
	定例教育委員会	11月22日	報告 2件	教育長の決裁処分及び第9回北本ピアノコンクールの事業の報告。
			議案 1件	教育振興基本計画の策定手続に係る議案の議決。
	臨時教育委員会	12月4日	報告 0件	
			議案 1件	平成24年第4回北本市議会定例会の一般質問に係る答弁の議案の議決。
	定例教育委員会	12月27日	報告 7件	第7回北本ジュニア囲碁まつりの事業、第47回北本市市民文化祭芸術展の事業、市民大学きたもと学苑の平成24年度前期講座実施状況等の報告。
			議案 2件	平成25年度小中学校入学通知等の議案の議決。
	定例教育委員会	1月24日	報告 3件	平成24年度各小中学校第2学期の状況、平成25年成人式の事業等の報告。
			議案 1件	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の議案の議決。
定例教育委員会	2月21日	報告 2件	教育長の決裁処分及びスポーツ推進計画の策定手続状況の報告。	
		議案 3件	平成25年度予算案に関する市長からの意見の聴取、北本市立小・中学校職員服務規程の一部改正等の議案の議決。	

定例・臨時教育委員会	臨時教育委員会	2月28日	報告 0件				平成25年第1回北本市議会定例会の一般質問に係る答弁及び教職員（管理職）の人事内申の議案の議決。
			議案 2件				
	臨時教育委員会	3月11日	報告 0件				教職員（管理職）の人事内申の議案の議決。
			議案 1件				
	定例教育委員会	3月28日	報告 7件				第14回北本市郷土芸能大会の事業、市民大学きたもと学苑の平成24年度後期講座実施状況、第5回きたもとアマチュアバンドフェスティバルの事業等の報告。 平成25年度教育行政の重点施策、平成25年度指導の重点・努力点、指定文化財の指定等の議案の議決。
			議案 11件				
その他の行事	学校訪問	5月29日	学校訪問及び社会教育施設等訪問を合わせて4回実施し、学校施設及び社会教育施設等の運営状況について確認を行った。				
	学校訪問	6月1日					
	学校訪問	7月12日					
	社会教育施設等訪問	7月19日					
総括			有効性	費用対効果	必要性	方向性	委員会（定例会12回・臨時会5回）、協議会（11回）並びに学校訪問及び社会教育施設等訪問（4回）が開催され、延べ187人の出席により教育委員会の活動が行われ、教育行政の適正な執行が図られた。
			2	2	3	4	

【第2部】 教育委員会の主要施策

平成24年度 教育委員会 主要施策点検・評価表			有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果 費用対効果・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予定以上の費用対効果 必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠 方向性・・・1＝廃止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大				改善点、課題等	
番号	事務事業名	所管	有効性	費用対効果	必要性	方向性		事業内容及び実施状況
1	教育委員会運営事業	教育総務課	3	2	3	4	<p>この事業は、教育行政事務事業について教育委員会が報告を受け、又は議案を審議し、議決若しくは承認を行うための会議（毎月開催される教育委員会定例会及び随時開催される教育委員会臨時会）等に係る事業である。</p> <p>平成24年度は、委員会（定例会12回・臨時会5回）、協議会（11回）並びに学校訪問及び社会教育施設等訪問（4回）が開催され、延べ187人の出席により審議議決等が行われ、教育行政の適正な執行が図られた。</p> <p>また、平成23年度から策定作業を行っていた北本市教育振興基本計画を策定した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から29年度までの5年間を計画期間とした北本市教育振興基本計画の策定を行った。 ・教育委員会の審議事項について見直しを行い、規則改正を行った。 ・教育委員会会議の議事概要についてホームページ掲載を開始した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事運営の効率化を促進するため、引き続き、分かりやすい資料の作成に努めること。
2	教育委員会事務局運営事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、教育委員会事務局の運営が適正かつ効率的に行われるよう、組織運営のために行ってきた事務管理に係る事業である。</p> <p>平成24年度は、例年と同様に事務局運営に必要なFAXや公用車などを調達するとともに、冊子「北本の教育」を発行するなど、適切な事務局運営が図られた。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局内部の連携を深め、より効率的な組織運営を図ること。

3	学校教育支援事業	学校教育課	3	2	3	4	<p>この事業は、児童生徒の学力向上をはじめ、適切かつ効果的な学校教育を推進するなど望ましい学校運営が行われるよう行われた事業である。</p> <p>平成24年度は、①指導員、支援員配置（延べ48人配置）、②各種委員会の開催（延べ36日開催）、③教科書、指導書購入、④地域活動室事業、⑤各種委託・委嘱（計6事業、延べ56校）、⑥教科担任制推進講師配置（1人配置、延べ120日実施）、⑦学力向上・生徒指導対策推進、⑧ALT配置（4人配置、延べ864日実施）⑨スクールソーシャルワーカー配置（1人配置、80日実施）⑩さわやか相談員配置（4人配置、各240日実施）等といった事業を通し、成果を挙げる事ができた。</p> <p>特に、小中一貫教育の推進において、小中学校の教員が9年間を見通した学校教育目標の具現化に向けて3つの部会に分かれ、各学期に1回以上、小中学校合同の研修会や各部会を開催し、児童生徒の学力向上などに係る取組が積極的に進められた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上支援員への名称変更とともに、8名から12名に増員したことで、効果的な学習支援が行えた。 ・スクールソーシャルワーカーの活用により、子どもたち・家庭の状況に合わせたきめ細かなサポート体制を構築することができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化する家庭環境、子どもたちの状況の変化に対応するため、特別支援教育のニーズが急務とされる中、さらなる支援員等の人的増員及び資質の向上を図ること。
4	教育相談・教職員研修事業	学校教育課	2	2	2	4	<p>この事業は、学校教育に必要な教職員の研修、教育相談及び教育センターの業務に関する事業である。</p> <p>平成24年度は、教育センターでの教育相談（133日開設、延べ288人利用）、適応指導教室（218日開設、延べ192人利用）、学校での教育相談（各校延べ960日開設）、学校教育に必要な教職員の講演会（1回、279人参加）、学校カウンセリングや外国語、学びジョーン等の研修会（計14回、285人参加）等を通して、児童生徒や保護者に応じた相談活動や、教職員の資質向上に大いに寄与した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の精選を行い、より実践的で、子どもたちへの教育に直結する研修へと内容をリニューアルし、実施した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センターと学校との一層の連携を図ること。 ・研修の成果をより広く活用していく風土を醸成すること。
5	入学準備貸付事業	学校教育課	2	2	2	4	<p>この事業は、教育を受ける機会を確保するため、高等学校、大学等へ進学を希望する人への貸付業務に関する事業である。</p> <p>平成24年度は、高等学校（2件）、大学等（2件）へ進学を希望する保護者等への貸付による経済的支援を行い、教育の振興に寄与した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返済が滞っている者に対し、連帯保証人との連携や積極的な働きかけ等を行うことができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返済が滞っている者に対し、さらなる積極的な働きかけを行うこと。

6	保健体育事業	体育課	2	2	3	4	<p>この事業は、法令に基づく就学時健康診断・プールの水質を含む学校環境衛生検査や小・中学校体育連盟諸事業、中学校部活動の活性化、体力向上推進研究委嘱等に係る業務を行うための事業である。</p> <p>平成24年度は、就学時健康診断（小学校8校）、衛生検査の実施（小学校8校、中学校4校）、小・中体連各大会の開催補助、体力向上研究委嘱（小・中学校各1校）、小学生対象の運動教室（陸上運動）の開催、中学校部活動への外部指導者派遣（31名）等により学校体育の充実と体力向上を図った。</p> <p>また、中学校武道必修化に伴い、地域連携指導実践事業を実践（中学校の武道の授業に外部指導者を派遣、幼稚園での空手教室、小学校での剣道教室）し、系統的な武道指導のあり方についての実践的な研究を推進した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内柔道・剣道連盟と連携を図り、全中学校の武道授業に地域指導者を派遣できる体制を整え、安全かつ効果的な授業の支援に努めた。 ・小学6校年生を対象とした剣道教室を開催した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における体育・スポーツ活動の充実に努め、児童・生徒の運動習慣の形成を図ること。
7	小学校運営事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、小学校の適正な運営が行われるよう、印刷費や消耗品購入などの需用費や電話・通信費等の役務費の負担を行って学校運営を支援した事業である。</p> <p>平成24年度は、例年と同様に電話、PC、インターネットの使用など、校務を行うに当たり不可欠なインフラを適切に管理し、学校運営の円滑化を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（3校）の教育用パソコンの更新を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したパソコンを入れ替えること。
8	小学校施設維持管理事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な学校施設の維持管理を図るために行った事業である。</p> <p>平成24度は校庭、校舎の老朽箇所の補修整備や危険箇所の修繕等を行い、児童が安全に学校で過ごせるよう施設の維持・管理を行った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り、外壁の剥落等について、学校施設の補修等を行い施設の改善を図った。 ・修繕及び備品の調達において、各校の状況を確認しながら効率的な発注を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所について限られた予算の中で迅速かつ適切に修繕等の対応をすること。

9	小学校施設整備事業	教育総務課	3	2	3	4	<p>この事業は、学校教育活動の充実を図り、安全に学校施設が利用できるよう整備を図った事業である。</p> <p>平成24年度は、安全な学校施設の確保のため、栄小学校校舎A棟、中丸小学校屋内運動場他4校の屋内運動場の耐震補強・大規模改修工事を実施した。また、翌年度の工事実施に向けて東小学校屋内運動場等に係る耐震補強・大規模改修工事の設計を進めた。</p> <p>なお、平成24年度末現在における市内小中学校の耐震化率は、91.5%となった。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎等施設の耐震補強・大規模改修工事を行い安全な学習環境の整備を図った。 ・国の有利な交付金制度を利用して、わずかな市の財源により校舎等の耐震補強を実施した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期に耐震化率を向上させること。 ・校舎等学校施設のバリアフリー化を推進すること。
10	小学校教育運営事業	学校教育課	2	2	2	4	<p>この事業は、小学校教育の運営に関する事業である。</p> <p>平成24年度は、小学校教育において円滑な学校運営を行うことができた。特に、小学校における土曜補習事業を実施（小学生全学年対象延べ1,753人参加）し、児童の基礎学力の向上に係る取組を行うことで、教育指導を効果的に進めることができた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校に応じた学力向上プランを作成させ、補習や学習状況調査等を学習指導へと効果的に取り入れることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のために児童の学習習慣や生活習慣を確立すること。
11	市費教員配置事業	学校教育課	3	2	3	4	<p>この事業は、小学校30人程度学級を実施する事業である。</p> <p>平成24年度は、30人程度学級を第1、2学年において実施し、市費教員を4校に5人任用することで、一人一人の児童に応じたきめ細かに指導できる体制が整えられた。1、2年生の1学級平均児童数は約25.2人となった。</p> <p>特に、1、2年生の期間に継続して少人数での指導ができることで、1年時に丁寧に指導してきたことで身に付きつつあった基本的な生活習慣をさらに継続的にはぐくみ、学習面においても掛け算九九など今後の学習に影響を与える学習内容が増加する時期に、きめ細かに指導できる体制を整えることができた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費教員の研修及び育成を個に応じた計画的に行い、教員の資質向上を図ることができた。 ・市費採用試験の実施に係る周知の範囲を広げ、積極的に働きかけることにより募集人員を確保し、東北地方など全国各地から優秀な人材を確保することができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より優秀な人材を確保すること。

12	小学校保健衛生事業	体育課	2	2	3	4	<p>この事業は、市内8校児童及び教職員の健康管理、学校管理下発生の傷害及び疾病に対する保険適用を行うための事業である。</p> <p>平成24年度は、学校医委嘱及び地区医師会委託による定期健康診断の実施、日本スポーツ振興センターの保険及び全国市長会学校災害賠償補償保険への加入等により、児童及び教職員の学校における健康・安全の管理・指導に努めた。</p> <p>また、インフルエンザ流行時期には、児童の感染状況を医師会や市長部局に情報提供し、連携を図りながら感染拡大防止に努めた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核対策合同委員会において結核健診方法について見直し、各小・中学校に周知を行った。 ・歯科検診時におけるダブルミラーの使用を徹底し、滅菌についても業者委託とした。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校管理下における事故防止や感染症予防に一層努力すること。
13	学校給食管理運営事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な小学校給食の提供が行えるよう、必要な職員配置等の人事管理等を行った事業である。</p> <p>平成24年度は、衛生的かつ適正な学校給食の提供に向けて非常勤職員の採用も含む必要な職員配置を行い、安全な学校給食運営に努めた。</p> <p>また、石戸小学校の給食調理等業務について、平成25年度からの委託の準備を行った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の徴収について通知や個別連絡等、各学校で努力し、未納問題に積極的に取り組んだ。
14	学校給食衛生管理事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、学校給食法第9条の「学校給食衛生管理基準」に基づき、調理の過程における衛生管理その他の小学校給食の適切な衛生管理を図るために行ってきた事業である。</p> <p>平成24年度は、インフルエンザ、ノロウイルス等に注意し、給食従事者の健康観察・健康管理を徹底するとともに、流行した場合の危機管理体制の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食食材（小・中学校）の放射性物質の測定を毎食食前に行った。 ・インフルエンザ及びノロウイルス対策で、他市や県等との連携を積極的に図った。 ・インフルエンザ、ノロウイルス等の発生時の対応について明確化した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ、ノロウイルス等の発生時に、適切な対応ができるよう周知徹底を行うこと。
15	学校給食施設整備事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、学校給食法第9条の「学校給食衛生管理基準」に基づき、施設及び設備において学校給食の適切な衛生管理を図る必要から、常に衛生環境等が衛生管理基準を満たすよう施設整備を行ってきた事業である。</p> <p>平成24年度は、学校給食施設の衛生的かつ安全な利用のため、老朽化した南小学校の揚げ物機を交換するなどし、健全な施設維持管理を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による冷凍庫の故障等、急を要する施設維持管理を迅速かつ適正に行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で早期の対応をすること。 ・老朽化した機器について、適切な管理を行うこと。

16	小学校教育振興備品整備事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、小学校の教育環境の充実を図り、もって教育効果の向上を目指して教育振興備品の整備を行ってきた事業である。</p> <p>平成24年度は、学校教育に必要な教育備品の確保のため、立奏木琴等音楽用品や新学習指導要領に対応する筋肉の動き模型等の理科備品を購入するなど、学校教科指導用備品の充実を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興備品について、予算確保後早期に購入し、効果的に活用できるよう努めた。 ・新学習指導要領に沿った備品の整備を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた財源の中で、学校の要望を満たせるよう努力すること。
17	小学校就学援助事業	学校教育課	2	2	3	4	<p>この事業は、要保護及び準要保護児童への就学援助を行う事業である。</p> <p>平成24年度は、要保護・準要保護家庭が経済的な理由で就学の機会が失われないよう、医療費46人、学用品費255人、給食費255人を対象として就学援助を行うとともに、関連機関と連携し、対象児童の把握や援助を推進した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時に民生委員の意見を不要としたことが定着してきた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民への制度の周知をより一層行うこと。
18	中学校運営事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、中学校の適正な運営が行われるよう、印刷費や消耗品購入などの需用費や電話・通信費等の役務費の負担を行って学校運営を支援した事業である。</p> <p>平成24年度は、例年と同様に電話、PC、インターネットの使用など、校務を行うに当たり不可欠なインフラを適切に管理し、学校運営の円滑化を図った。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育支援機器（プロジェクター等）の充実を図ること。
19	中学校施設維持管理事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な学校施設の維持管理を図るために行った事業である。</p> <p>平成24年度は、校庭、校舎の老朽箇所の校庭の補修整備や危険箇所の修繕等を行い、生徒が安全に学校で過ごせるよう施設の維持・管理を行った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り、外壁の剥落等について、学校施設の補修等を行い施設の改善を図った。 ・修繕及び備品の調達において、各学校の状況を確認しながら効率的な発注を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所について限られた予算の中で迅速かつ適切に修繕等の対応をすること。

20	中学校施設整備事業	教育総務課	3	2	3	4	<p>この事業は、学校教育活動の充実を図り、安全に学校施設が利用できるよう整備を図った事業である。</p> <p>平成24年度は、安全な学校施設の確保のため、宮内中学校校舎A棟（南棟）、東中学校屋内運動場の耐震補強・大規模改修工事を実施した。また、翌年度の工事実施に向けて宮内中学校校舎B棟に係る耐震補強・大規模改修工事の設計を進めた。</p> <p>なお、平成24年度末現在における市内小中学校の耐震化率は、91.5%となった。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎等施設の耐震補強・大規模改修工事を行い安全な学習環境の整備を図った。 国の有利な交付金制度を利用して、わずかな市の財源により校舎等の耐震補強を実施した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 早期に耐震化率を向上させること。 校舎等学校施設のバリアフリー化を推進すること。
21	中学校教育運営事業	学校教育課	2	2	2	4	<p>この事業は、中学校教育の運営に関する事業である。</p> <p>平成24年度は、学習状況調査（1年生1回594人、3年生3回延べ1,815人参加）を実施し、生徒の学力の状況を把握して学習指導、進路指導に生かした。さらにキャリア教育を推進し、職場体験活動（2年生618人参加）を通して勤労の大切さを学んだ。また、外部講師を活用した土曜補習（中学生全学年対象延べ1,052人参加）を実施し、生徒の学力向上を図ることができた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> 土曜補習の指導に当たる外部講師と教員について、学校の状況に応じて教員の数を増やした。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力向上に向けた取組（学力向上プランの検証、学習状況調査の分析、補習等）を一層充実させること。
22	中学校保健衛生事業	体育課	2	2	3	4	<p>この事業は、市内4校生徒及び教職員の健康管理、学校管理下発生の傷害及び疾病に対する保険適用を行うための事業である。</p> <p>平成24年度は、学校医委嘱及び地区医師会委託による定期健康診断の実施、日本スポーツ振興センターの保険及び全国市長会学校災害賠償補償保険への加入等により、生徒及び教職員の学校における健康・安全の管理・指導に努めた。</p> <p>また、インフルエンザ流行時期には、生徒の感染状況を医師会や市長部局連携を図りながら感染拡大防止に努めた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> 結核対策合同委員会において結核健診方法について見直し、各小・中学校に周知を行った。 歯科検診時におけるダブルミラーの使用を徹底し、滅菌についても業者委託とした。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校管理下における事故防止や感染症予防に一層努力すること。

23	学校給食センター給食調理事業	教育総務課	3	2	3	4	<p>この事業は、中学校へ安全で栄養バランスがとれた、おいしい給食を提供するために実施する事業である。</p> <p>平成24年度は、中学生の健全な育成を図るため、栄養に配慮し、バランスが取れた中学校給食の提供に努めるとともに、給食物資の適切な調達を行うなど、適正な調理業務の実施に努めた。</p> <p>また、中学校給食の調理方式のセンター方式から自校方式への移行に伴い、平成25年度からの西中学校自校化に係る準備を行った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に定めた中学校給食室基本計画に基づき、西中学校について翌年度の自校方式開始に向けて準備を行った。 ・自校方式化に伴い、給食食器をアルマイト食器から強化磁器食器へ変更した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校方式化への移行を滞りなく推進すること。
24	学校給食センター施設管理事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、中学校へ安全かつ適正な学校給食の提供を行うために、施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設の安全及び衛生的な環境の確保のため、特に、食缶洗浄機出口ストッパー修繕、BHボイラ給水フロートスイッチ交換、BHボイラ本体連絡管漏れ、ボイラ用主蒸気管減圧弁交換、BHボイラバーナ耐火材交換修繕、ボイラ熱交換器用電動弁、温度調節計交換等、施設や各種設備等の必要な修繕を実施し、適正な施設維持管理に努めた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全や調理室の老朽化に伴う維持管理を適切に行うため、急を要する施設の維持管理を迅速かつ適正に行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校方式への移行が完了するまでの間、老朽化した施設を適切に維持管理すること。
25	中学校教育振興備品整備事業	教育総務課	2	2	3	4	<p>この事業は、中学校の教育環境の充実を図り、もって教育効果の向上を目指して教育振興備品の整備を行ってきた事業である。</p> <p>平成24年度は、学校教育に必要な教育備品の確保のため、電子黒板や新学習指導要領に対応する顕微鏡等の理科備品を購入するなど、学校教科指導用備品の充実を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興備品について、予算確保後早期に購入し、効果的に活用できるよう努めた。 ・新学習指導要領に沿った備品の整備を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた財源の中で、学校の要望を満たせるよう努力すること。
26	中学校就学援助事業	学校教育課	2	2	3	4	<p>この事業は、要保護及び準要保護生徒への就学援助を行う事業である。</p> <p>平成24年度は、要保護・準要保護家庭が経済的な理由で就学の機会が失われないよう、医療費29人、学用品費152人、給食費149人を対象として就学援助を行うとともに、関連機関と連携し、対象生徒の把握や援助を推進した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時に民生委員の意見を不要としたことが定着してきた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民への制度の周知をより一層行うこと。

27	幼稚園就園奨励事業	学校教育課	2	2	2	4	<p>この事業は、幼稚園教育振興の一環として、園児の保護者に対して交付した補助金及び市内私立幼稚園への助成に関する事業である。</p> <p>平成24年度は、幼稚園教育振興の一環として、園児の保護者（延べ1,134人対象）に対して補助金を交付するとともに、私立幼稚園9園を対象に助成し、幼稚園教育の充実向上に寄与した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・減税前の市民税で補助金額を算定する旨の告知を行い制度の周知を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度に関する保護者からの質問が多いことから、保護者宛の書類をさらに分かりやすいものに改善すること。
28	社会教育総務関係事業	生涯学習課	2	2	2	4	<p>この事業は、地域で子どもを守りはぐくめるよう社会教育活動団体に財政的支援や助言を行うなど、関係団体の指導・育成の充実 に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、各種人権教育研修会、青少年非行防止活動、各小中学校PTA家庭教育学級等の事業を実施し、市民に多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>また、社会教育主事等の専門知識を持った人材が配置できるよう社会教育主事講習の紹介を行い、2名が取得した。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館職員及び学校関係者に社会教育主事講習の紹介を行い、資格取得者を増やし、社会教育関連事業の充実と振興を図ること。
29	生涯学習推進事業	生涯学習課	3	2	2	4	<p>この事業は、市民の誰もが生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を行った事業である。</p> <p>平成24年度は、市民が互いに学び、支え合い、交流を深めるため、市民大学きたもと学苑運営に助言と支援を行い、市民の学習機会の拡充(年間168講座、延べ1,887人参加)を図った。また、第5回アマチュアバンドフェスティバル(応募団体43内本選出場12団体、中高生のチャレンジコーナー2団体、入場者数650人)等を通じて、市民と行政の協働のまちづくりによる人材育成に努めた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回アマチュアバンドフェスティバルでは、中高生のチャレンジコーナーに、北本中のギター・マンドリン部と吹奏楽部の合同演奏と北本高校の軽音楽部の演奏が行われたこと。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学きたもと学苑の講座数が増え、開設会場の確保が困難になっていること。
30	芸術文化振興事業	生涯学習課	2	2	2	4	<p>この事業は、市民文化祭の開催、各文化活動団体の育成・支援等を通して市民の芸術・文化活動の育成及び振興を図ることを目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、市民文化祭・芸術展(展示部門出品点数1,140点、来場者数4,086人、陶芸・茶道体験等参加者数304人)、ジュニア囲碁まつり(参加者数312人)や市民囲碁大会(参加者数86人)を開催し、芸術文化の育成に寄与するとともに、参加者の交流と親睦が図られた。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・囲碁に親しんでもらうために、参加者の裾野を広げる工夫及びシニアの教室の開設をすること。

31	国際交流推進事業	生涯学習課	2	2	2	4	<p>この事業は、国際化社会に対応し、外国人と市民の多様な交流機会を提供するとともに、外国人が暮らしやすい環境を整備することを目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、北本市学習センター内に、国際交流ふれあいラウンジを開設し、市民と外国籍の人々との交流（日本語学習会・延べ数379人参加、交流会・延べ81人参加）を深めるとともに、お互いの文化や歴史を知る機会（「もっと知ろう友達の国」・延べ133人参加）を提供することができた。さらに、外国語入門講座や日本語指導ボランティア養成講座（延べ205人参加）を開設した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ラウンジ委員会がWebサイトを利用した広報活動や国際交流ふれあいパーティーを企画・開催した。 ・実施事業において、参加者が本場のマレーシア料理を作ってパーティーをするなど体験的活動を取り入れた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業に係る周知を行い、より多くの参加者を募ること。
32	青少年健全育成事業	生涯学習課	3	2	2	5	<p>この事業は、青少年の健全な育成を地域ぐるみで推進することを目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、子ども達の放課後の安全な居場所づくりを推進するため、西小学校・南小学校・東小学校・中丸小学校に加え石戸小学校で放課後子ども教室を開設し、ふれあい活動や学習活動を通して子ども達と地域の連携を強めた。また、青少年問題協議会、各小学校のPTA家庭教育学級、青少年ふるさと学習等を開催し、子どもたちを地域ぐるみで守り育てる意識の高揚を図る取組を推進した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室5校目（石戸小学校）を開設した。 ・地域で活動しているコミュニティの協力を得ながら、放課後子ども教室全体の運営方法や児童の活動プログラムの改善を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得るとともに、学習アドバイザー等のスタッフを確保すること。
33	社会教育施設システム管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、各公民館等の一元的な予約管理を行うことにより、市民の利便性を図ることを目的として行った事業である。</p> <p>平成19年度から文化センター・中央公民館及び各地域学習センターに公共施設予約システムを導入し、市民の利便性の向上に役立ち、市民に定着してきている。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設に設置した窓口用パソコン11台の入替えを行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすいシステムとなるよう、継続して利便性向上を検討すること。

34	中央公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、中央公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。中央公民館は、ホール・プラネタリウム等を有する中央館として、生涯学習の推進の拠点となる施設である。</p> <p>平成24年度は、各種の自主文化事業、主催・共催事業を実施し、芸術・文化活動を推進した。東日本大震災復興チャリティコンサートを行い、震災復興への意識向上を図った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、7, 245件、193, 698人であった。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災復興チャリティコンサートを行い、震災復興への意識向上を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北本ピアノコンクール参加者の増加を図ること。 ・プラネタリウムの来場者が伸び悩んでいることから、魅力あるプログラムの投影を検討すること。
35	南部公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、南部公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が2事業、共催が2事業、支援が8事業の12事業を実施し、地域住民の生涯学習や地域コミュニティづくりの拠点施設として、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、3, 929件、45, 970人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の幅広い参加を得るための自主事業を企画すること。
36	南部公民館施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育室照明器具修繕、会議テーブル修繕及び区画線塗布工事を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築28年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
37	東部公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、東部公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が5事業、共催が4事業、支援が5事業の14事業を実施し、地域住民の生涯学習や地域コミュニティづくりの拠点施設として、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、3, 212件、29, 325人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催、共催等事業の充実を図るとともに、参加者の増員を図ること。
38	東部公民館施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター入替え工事、空調機器修繕、貯水槽修繕等を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築26年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。

39	西部公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、西部公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が3事業、共催が2事業、支援が5事業の10事業を実施し、地域住民の生涯学習や地域コミュニティづくりの拠点施設として、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、3,666件、33,936人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者事業の参加者は増えたが、さらに幅広く地域住民の参加を増やすこと。
40	西部公民館施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽沈殿槽越流せき等修理及び2階給湯室湯沸かし器交換修理を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築25年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
41	北部公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、北部公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が3事業、共催が2事業、支援が3事業の8事業を実施し、地域住民の生涯学習や地域コミュニティづくりの拠点施設として、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、3,051件、36,875人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の充実を図り、より多くの参加を増やすこと。
42	北部公民館施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子トイレ和便器取替修繕、談話室エアコン室外機圧縮機及び機能部品交換修繕を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築24年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
43	中丸公民館運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、中丸公民館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が3事業、共催が1事業、支援が9事業の13事業を実施し、地域住民の生涯学習や地域コミュニティづくりの拠点施設として、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、2,660件、40,867人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の充実を図るとともに、地域住民の幅広い参加を得ること。

44	中丸公民館施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用照明器具修繕、陶芸窯緊急修繕、エアーカーテン交換修繕などの改善を行うとともに、ホール屋根防水工事へ向けての設計を実施した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築23年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
45	文化財保護推進事業	生涯学習課	3	2	3	4	<p>この事業は、文化財保護法等に基づき、埋蔵文化財の保護、市民の文化財保護意識の啓発普及、国・県・市指定文化財の保存・整理等を目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、開発に伴う範囲確認調査33件、内容確認調査1件、発掘調査1件を実施し、埋蔵文化財の適正な記録・整理保存に努めた。</p> <p>また、市が誇る歴史資産である石戸城跡の適切な保存管理を図るため、石戸城跡保存管理計画及び整備基本計画を策定するとともに、懸案事項であったデーノタメ遺跡について、地権者との協議を経て、遺跡の一部において内容確認調査を実施した。なお、デーノタメ遺跡の出土遺物の保存処理や分析については、引き続き専門機関に業務委託した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石戸城跡の適切な保存管理を図るため、石戸城跡保存管理計画及び整備基本計画を策定した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デーノタメ遺跡の詳細調査を実施し、区画整理事業との調整を図ること。 ・石戸城跡の内容確認調査を実施し、市指定史跡化を早急を図ること。
46	地域資料保存事業	生涯学習課	2	2	3	4	<p>この事業は、北本の歴史を次世代へ継承していくため、市内に残る市史資料等の整理、保存を進めることを目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、引き続き市内の旧家等に残る古文書等を収集、整理し、市史資料の適正な保存に努めた。また、古文書読解の会（震災記録を読む）等（9回開催・延べ参加者数191人）を開催、また古文書読解初心者に対する講座（5回開催・延べ参加者数118人）も開設し、市民の古文書に対する知識を深めた。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書読解の会において、市内で収集した古文書を読むだけでなく、江戸時代の震災記録をテキストに選び参加者の増員を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集、整理した古文書等を報告書（北本市市史編さん調査報告書等）としてまとめること。
47	社会人権教育事業	生涯学習課	2	2	3	4	<p>この事業は、市民の一人一人が同和問題をはじめとする人権問題について正しく理解し、認識を深めることができるよう、人権教育や人権啓発を推進することを目的として行った事業である。</p> <p>平成24年度は、社会教育の観点から、人権が尊重される社会実現に向けた生涯学習人権講座を4回、市内各小中学校で行われる家庭教育学級、公民館が企画する研修会をそれぞれ1回ずつ開催した。また、人権作文集「じんけん」、人権教育啓発資料「ふれあい」等を発行し、人権意識の啓発を図った。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校職員やPTAの人権ファシリテーターや家庭教育アドバイザーの活用の仕方を工夫すること。

48	堀の内集会所施設 管理事業	生涯学習課	2	2	3	4	この事業は、社会教育における人権教育及び人権啓発の拠点として設置する堀の内集会所の適正な管理運営等を行うことを目的として行った事業である。 平成24年度は、蒲桜子ども会を6回、成人・長寿学級を7回実施した。また、施設の老朽化が進んでいるため、定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行うなど、適切な維持管理に努めた。	<課題> ・多くの人たちが参加するように工夫すること。
49	図書館管理運営事業	文化センター	2	2	3	4	この事業は、図書館の効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。 平成24年度は、利用者の課題解決への支援や多様な学習要求に応えるため引き続き図書購入予算1,500万円を確保した。また、窓口業務を中心に引き続き民間活力を取り入れサービス水準の維持向上を図ることによって、親しみやすい図書館づくりに努めた。	<改善点> ・録音図書の貸出しをカセットテープからCDを利用したDAISY図書に替え、音質、目的箇所への移動等、目の不自由な方等へのサービス向上を引き続き図った。
50	文化センター施設 維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。 平成24年度は、施設の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。	<改善点> ・プラネタリウム本体のオーバーホールを行った。 <課題> ・築28年の経過に伴い、設備故障が著しいため、計画的な対応を行うこと。
51	視聴覚ライブラ リー事業	文化センター	2	2	3	4	この事業は、視聴覚機器、機材、ソフト等を貸し出すほか、機器の操作講習等を行い、映像を中心とした学習活動を推進した事業である。 平成24年度は、前年度に引き続き事業に必要な教育機器等の借上げを行って視聴覚ライブラリーの活用を図るなど、学習活動の推進に努めた。	<課題> ・視聴覚機器を取り扱うスキルが要求されるため職員のスキルの向上を図ること。 ・ハード・ソフトの整備予算を確保すること。
52	学習センター運営 事業	文化センター	2	2	3	4	この事業は、学習センターの効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。 平成24年度は、地域住民の生涯学習、コミュニティづくり及び国際交流ラウンジ委員会の拠点として、主催が2事業、共催が2事業、支援が4事業、委託が4事業の12事業を実施し、学習の場、情報の提供を行った。 なお、平成24年度の施設利用は、3,512件、31,431人であった。	<改善点> ・国際交流ラウンジ事業について、市役所、駅、各公民館等に掲示物を配布して広く周知を行った。 <課題> ・自主事業の充実等により、より多くの地域住民の参加を促すこと。

53	学習センター施設 維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきたところである。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調機のポンプ交換修繕、圧力測定計器弁の交換修繕及び卓球台の修繕を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築17年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
54	勤労福祉センター 運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、勤労福祉センターの効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が6事業、共催が4事業、支援が5事業の15事業を実施し、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、1,980件、26,832人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の充実を図り、幅広く参加者を増やすこと。
55	勤労福祉センター 施設維持管理事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の保守点検・修繕等を行うと共に耐震診断を実施し、良好な施設環境の整備を図った。</p> <p>また、災害時の避難施設という重要な役割を担っていることから、施設の耐震診断調査を実施した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備（消火栓ホース・消火栓バルブ等）の交換修繕及び自家用電気工作物ブレーカーの交換修繕を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築33年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。
56	コミュニティセン ター運営事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、コミュニティセンターの効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、主催が3事業、共催が2事業、支援が12事業の17事業を実施し、学習の場、情報の提供を行った。</p> <p>なお、平成24年度の施設利用は、2,888件、40,677人であった。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の充実を図り、より多くの参加を増やすこと。
57	コミュニティセン ター施設維持管理 事業	文化センター	2	2	3	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、施設及び設備の老朽化が進んでおり利用者が安全に利用していただけるよう各箇所の保守点検・修繕等を行い、良好な施設環境の整備を図った。</p> <p>また、災害時の避難施設という重要な役割を担っていることから、施設の耐震診断調査を実施した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールの舞台緞帳等交換修繕、図書・談話コーナーの修繕及び避難誘導灯交換修繕を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・築32年の経過に伴う施設設備の老朽化への対応を計画的に行うこと。

58	野外活動センター 運営事業	生涯学習課	2	2	2	4	<p>この事業は、野外活動センターの効率的かつ利用価値の高い運営効果を目指して行った事業である。</p> <p>平成24年度は、施設の運営業務について、指定管理者が民間のノウハウを生かして、市民サービスの向上と施設の効率的な運営に努めた。また、電気エネルギーや化石燃料の使用料の削減に努めながら、利用者へのアンケート調査を行い、利用者や時代のニーズに対応したサービスが提供できるような運営に努めている。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対するアンケート結果に基づき、キャンプ場を禁煙にしたり、電話での仮予約を可能にしたりするなど、利用者の立場に立った運営方法の改善を行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ施設等利用者の拡大が図れるような事業の工夫を行うこと。
59	野外活動センター 施設維持管理事業	生涯学習課	2	2	2	4	<p>この事業は、野外活動センターの適正な施設維持管理のために行った事業である。</p> <p>平成24年度は、施設設備の日常・定期・緊急点検等適切に実施し、破損箇所等の修理を迅速に行うなど、安全な施設の維持管理が図られた。</p> <p>また、陶芸窯の修理及び大広間の高窓開閉装置等の修理を行った。</p> <p>なお、3年ごとに行われる環境調査では、周辺の井戸水を含めて異常は見られなかった。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行している箇所が多くあるため、定期点検及び保守点検の他に、巡回による点検を随時行った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴い修理箇所が増えていることから、利用者の安全を考慮して、速やかな修理に努めること。
60	スポーツ振興事業	体育課	3	2	2	4	<p>この事業は、市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るために行った事業である。</p> <p>平成24年度は、体育協会及びスポーツ推進委員連絡協議会へスポーツ事業を委託し、市民を対象とした各種教室や事業の充実を図った。特に、地域スポーツ普及委託事業として、新たにニュースポーツ教室を4回開催し、市民へのスポーツの機会の提供に努めた。</p> <p>また、社会体育団体への補助金の交付や、全国大会等へ出場した市民等への奨励金の交付などにより、活動支援を行った。</p> <p>さらに市民2,000人を対象としたアンケート調査結果から、本市の課題を設定し、基本理念・目標を定め、スポーツ推進のための施策を体系的に整理した北本市スポーツ推進計画を策定した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から34年度までの10年間を計画期間とした北本市スポーツ推進計画を策定した。 ・体育協会、スポーツ少年団の自立を促し、必要に応じた支援を心がけた。 ・スポーツ推進委員連絡協議会に地域スポーツ普及事業を委託し、事業の充実を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定したスポーツ推進計画に基づき、施策の体系的・計画的な推進に努めること。

61	学校体育施設開放事業	体育課	2	2	2	4	<p>この事業は、市内小中学校の屋内運動場やグラウンドを夜間や休日に開放し、生涯スポーツ奨励の観点から市民に運動・スポーツやレクリエーションに親しむ地域の間や機会の提供を目的とした事業である。</p> <p>平成24年度は、管理業務を委託する学校開放連絡協議会と各学校との連携を一層図りながら、学校体育施設の適正利用に努めた（延べ41,420人利用）。また、年度中、5小学校・1中学校の体育館改修工事が行われたため、利用団体との連絡調整に努めた。</p> <p>なお、夏のプール開放については、校舎や体育館改修工事に伴う安全の確保を行うとともに、プール改修状況を考慮し、東小学校で4日間実施した。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬかるんでいる時（霜解けや降雨後等）のグラウンド使用禁止等、学校体育施設の開放に係る利用上のきまりを見直した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に行われる体育館改修工事（1小学校）へ対応すること。 ・プール開放に係る市民への周知方法を工夫し、利用者の拡大を図ること。
62	体育センター維持管理事業	体育課	2	2	2	4	<p>この事業は、適正な施設運営が行えるように施設の維持管理に努めてきた事業である。</p> <p>平成24年度は、自主事業等の工夫・充実（継続19、新規14）を図るとともに、利用者のアンケートなどを参考により一層の安全・快適な施設管理に努め、市民サービスの向上を目指した。</p> <p>また、弓道場折り戸の修繕、空調用冷却ポンプの修繕、メインアリーナ2階手摺塗装工事を行い、施設の安全性と利便性の向上を図った。</p> <p>なお、6月25日（月）にメインアリーナ天井の照明器具（電球と安定器）の交換作業をしていた作業員1名が約20mの高所から転落し死亡する事故があった。</p>	<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を契機に照明の節電（蛍光灯の間引きや点灯箇所の絞込み）に取り組んできたが、利用者からの要望を受け、新たに照度基準を設け対応することにした。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の事業計画に基づく効果的な実践を支援するとともに見届けを行うこと。

【第3部】 知見の活用

【知見の活用(学識経験者)】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基づき、学識経験を有する評価者として、以下の2名の方に意見や助言をいただきました。

埼玉大学教授 清水 誠 (敬称略)

【略 歴】 昭和51年 埼玉大学教育学部附属中学校 教諭
平成 3年 埼玉県教育局北足立北部教育事務所指導課 指導主事
平成 7年 埼玉県教育局指導部指導第一課 主任指導主事
平成 9年 埼玉大学 教育学部 助教授
平成15年 埼玉大学 教育学部 教授(現在に至る。)
平成20年 埼玉大学教育学部附属小学校 校長
平成22年 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 教授
(現在に至る。)

【講 評】 各課所の事務の管理及び執行は、適正であるとともに、期待する効果を挙げており、いずれも良好に行われている。

特に、平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とした北本市教育振興基本計画の策定や、平成25年度から平成34年度までの10年間を計画期間とした北本市スポーツ推進計画の策定など、今後の方向性を明確にすることができている。他にも学力向上支援員の増員や学校校舎の耐震補強及び大規模改修工事の実施などの成果を挙げていることは評価できる。

達成目標を明確にし、さらなる成果を期待したい。

元埼玉県公立小学校校長会会長 金子 美智雄 (敬称略)

【略 歴】 昭和51年 埼玉大学教育学部附属小学校 教諭
平成 元年 埼玉大学教育学部附属小学校 副校長
平成 6年 大宮市立栄小学校 校長
平成 9年 埼玉県教育局北足立北部教育事務所 所長
平成11年 埼玉県教育局南部教育事務所 所長
平成13年 所沢市立所沢小学校 校長
平成16年 埼玉県公立小学校校長会 会長

【講 評】 教育行政全般にわたり、綿密な企画のもと、適正な執行が図られており、各課所の施策においても、期待どおり又は期待以上の成果を挙げている。

ことに、教育委員会運営事業をはじめ、施設整備事業においても小学校・中学校ともに期待以上の成果を挙げ、さらに学校教育支援事業・青少年健全育成事業等においても、顕著な成果を認めることができる。

また、全体を通して、内部評価も妥当であると認められる。

今後は、各課所で示された改善点・課題等について、さらなる推進が図られることを期待する。

【 評 価 】

【評価基準】

評価記号	評 価 要 素
A	期待水準を上まわる成果をあげている。
B	ほぼ期待する成果をあげている。
C	期待する成果が十分に得られていない。

【点検・評価の総合結果】

総合評価	内部評価	学識経験者評価					
		清水委員			金子委員		
【第1部】 教育委員会会議及 び教育委員の活動	B	B			B		
【第2部】 教育委員会の 主要施策	A	7事業	11.3%	8事業	12.9%	9事業	14.5%
	B	55事業	88.7%	54事業	87.1%	53事業	85.5%
	C	0事業	0.0%	0事業	0.0%	0事業	0.0%
合 計	62事業	100%	62事業	100%	62事業	100%	

* 各事務事業の評価に関することは、各担当課にお問合せください。

【第2部・評価の結果内訳一覧】

所属課名	事務事業名	内部評価	学識経験者評価	
			清水委員	金子委員
教育総務課	1.教育委員会運営事業	A	A	A
	2.教育委員会事務局運営事業	B	B	B
	7.小学校運営事業	B	B	B
	8.小学校施設維持管理事業	B	B	B
	9.小学校施設整備事業	A	A	A
	13.学校給食管理運営事業	B	B	B
	14.学校給食衛生管理事業	B	B	B
	15.学校給食施設整備事業	B	B	B
	16.小学校教育振興備品整備事業	B	B	B
	18.中学校運営事業	B	B	B
	19.中学校施設維持管理事業	B	B	B
	20.中学校施設整備事業	A	A	A
	23.学校給食センター給食調理事業	B	B	A
	24.給食センター施設維持管理事業	B	B	B
	25.中学校教育振興備品整備事業	B	B	B
学校教育課	3.学校教育支援事業	A	A	A
	4.教育相談・教職員研修事業	B	B	B
	5.入学準備金貸付事業	B	B	B
	10.小学校教育運営事業	B	B	B
	11.市費教員配置事業	A	A	A
	17.小学校就学援助事業	B	B	B
	21.中学校教育運営事業	B	B	B

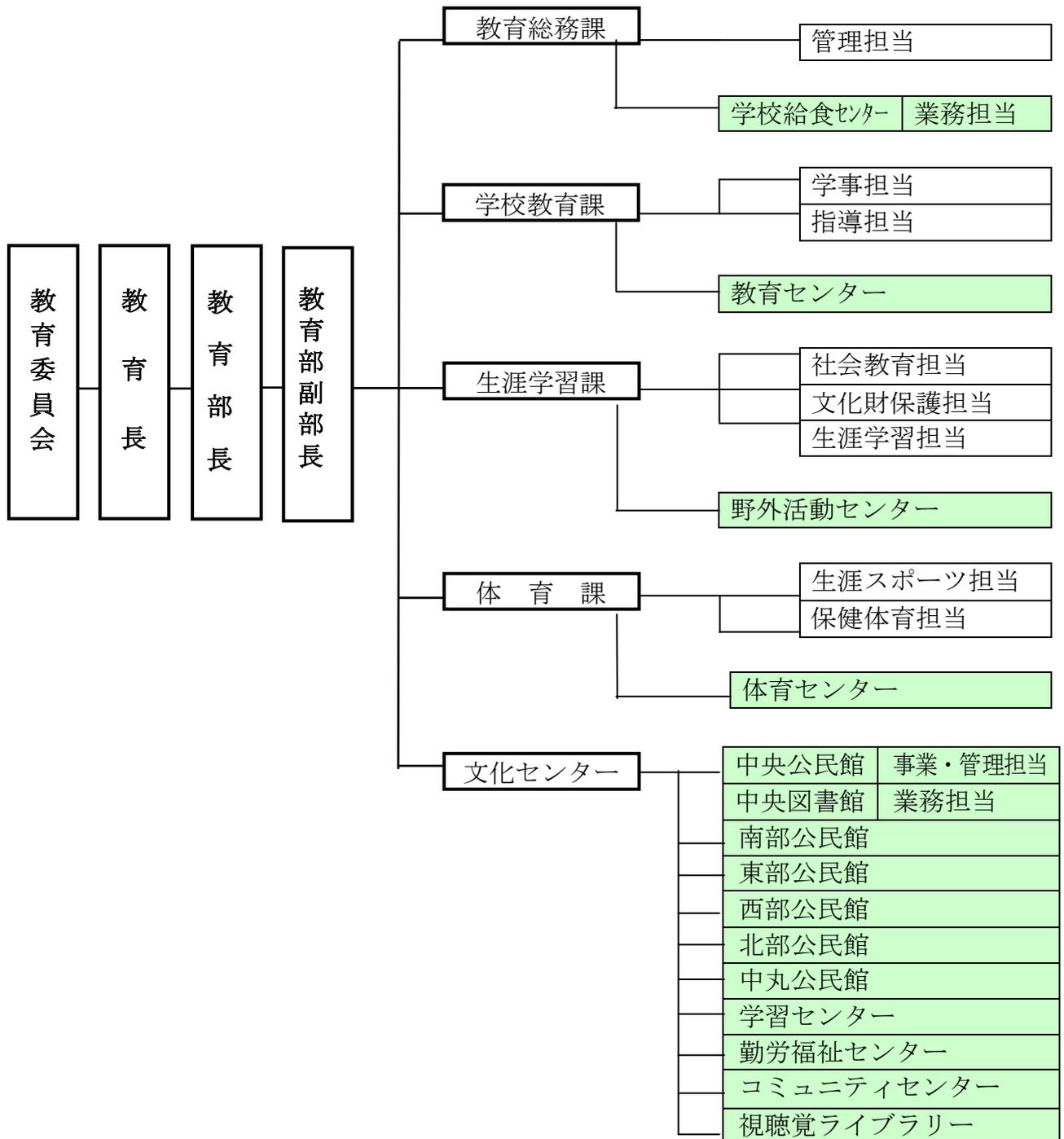
	26.中学校就学援助事業	B	B	B
	27.幼稚園就園奨励事業	B	B	B
生涯学習課	28.社会教育総務関係事業	B	B	B
	29.生涯学習推進事業	B	A	B
	30.芸術文化振興事業	B	B	B
	31.国際交流推進事業	B	B	B
	32.青少年健全育成事業	A	A	A
	45.文化財保護推進事業	B	B	A
	46.地域資料保存事業	B	B	B
	47.社会人権教育事業	B	B	B
	48.堀の内集会所施設管理事業	B	B	B
	58.野外活動センター運営事業	B	B	B
	59.野外活動センター施設維持管理事業	B	B	B
体 育 課	6.保健体育事業	B	B	B
	12.小学校保健衛生事業	B	B	B
	22.中学校保健衛生事業	B	B	B
	60.スポーツ振興事業	A	A	A
	61.学校体育施設開放事業	B	B	B
	62.体育センター維持管理事業	B	B	B
文化センター	33.社会教育施設システム管理事業	B	B	B
	34.中央公民館運営事業	B	B	B
	35.南部公民館運営事業	B	B	B
	36.南部公民館施設維持管理事業	B	B	B
	37.東部公民館運営事業	B	B	B
	38.東部公民館施設維持管理事業	B	B	B
	39.西部公民館運営事業	B	B	B
	40.西部公民館施設維持管理事業	B	B	B
	41.北部公民館運営事業	B	B	B
	42.北部公民館施設維持管理事業	B	B	B
	43.中丸公民館運営事業	B	B	B
	44.中丸公民館施設維持管理事業	B	B	B
	49.図書館管理運営事業	B	B	B
	50.文化センター施設維持管理事業	B	B	B
	51.視聴覚ライブラリー事業	B	B	B
	52.学習センター運営事業	B	B	B
	53.学習センター施設維持管理事業	B	B	B
	54.勤労福祉センター運営事業	B	B	B
	55.勤労福祉センター施設維持管理事業	B	B	B
56.コミュニティセンター運営事業	B	B	B	
57.コミュニティセンター施設維持管理事業	B	B	B	

資 料

1 教育委員会委員 (平成25年3月31日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委員長	久保政一	平成17年 4月1日～平成25年 3月31日
職務代理者	島寄直子	平成21年 7月1日～平成25年 6月30日
委員	大保木道子	平成22年10月1日～平成26年 9月30日
委員	岡村和也	平成22年10月1日～平成26年 9月30日
委員	西村裕一	平成23年10月1日～平成27年 9月30日
教育長	小尾富士雄	平成15年10月1日～平成25年 9月30日

2 教育委員会の組織 (平成25年3月31日現在)



3 公立学校施設

(1) 小学校

(平成24年5月1日現在)

学 校 名	児童数 (人)	学級数
中丸小学校	4 9 5	2 0
石戸小学校	3 4 9	1 2
南小学校	4 7 0	1 8
栄小学校	1 9 1	6
北小学校	4 7 1	1 6
西小学校	6 4 0	2 2
東小学校	5 8 2	2 1
中丸東小学校	3 9 2	1 2
小学校合計	3 5 9 0	1 2 7

(2) 中学校

(平成24年5月1日現在)

学 校 名	生徒数 (人)	学級数
北本中学校	6 6 7	2 0
東中学校	6 1 5	1 7
西中学校	2 0 7	8
宮内中学校	3 5 3	1 1
中学校合計	1, 8 4 2	5 6

(平成24年度実施事業)

北本市教育委員会点検・評価報告書

発行 平成25年8月

編集 北本市教育委員会

〒364-8633 埼玉県北本市本町1丁目111番地

T E L 048-591-1111

F A X 048-592-5997

U R L <http://www.city.kitamoto.saitama.jp>

E-mail @04400@city.kitamoto.saitama.jp
